

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-5-2 人材の育成・定着
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	技能評価・向上事業		
目的	(1) 対象	技能労働者	
	(2) 意図	技能レベルの向上を図る	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 労働者の技能と地位の向上を図るため、技能を評価する技能検定を実施するとともに、技能競技大会への参加を支援する 技能者の地位の向上と県民の技能に対する関心を高めることを目的に、優秀な技能者の表彰や認定を行う 職業訓練指導員の免許申請者に対して免許を交付する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	技能検定合格者数	目標値	750.0	750.0	750.0	750.0	人
		取組目標値						
	式・定義	技能検定（特級+1級+単一等級+2級+3級）合格者数	実績値	686.0				
		達成率	91.5	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	30,250	30,250
うち一般財源 (千円)	18,050	18,050

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 技能検定受検申請数 H24 1,485名、H25 1,269名、H26 1,301名、H27 1,390名 第52回技能五輪全国大会出場者数 4職種 9名（前回大会：4職種、8名）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 技能検定受検者数の増 対H26 +89名
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会等の技能競技大会への選手派遣を行う企業が限定的になっている
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会の開催時期の問題もあるが、選手の育成や派遣の費用等、企業負担が大きいことが考えられる
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根県職業能力開発協会が受託している「若年技能者人材育成事業」の活用促進

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪競技大会等への選手派遣については、平成25年度から実施している「若年技能者人材育成事業」を引き続き活用し、受託者である島根県職業能力開発協会と協力して支援。 引き続き職業能力開発協会や技能士会連合会等の関係団体と連携し、技能検定制度についてPRし、事業所の従業員等の受検に向けた機運醸成を図る。
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--